

北九州市地域防災計画及び北九州市医師会医療救護計画に基づく
令和元年度 災害医療作戦指令センター（DMOC）情報伝達訓練

訓練日時：令和元年7月20日（土）15：00～17：00

訓練場所：市立八幡病院 別館3階 DMOC 及び本館2階一般外来エリア

（目次）

1. 令和元年度 災害医療作戦指令センター（DMOC）情報伝達訓練概要
 - ・ 訓練概要
 - ・ 訓練スケジュール
 - ・ 訓練参加者へのお願い
 - ・ 被災状況の館内放送について
 - ・ 訓練会場レイアウト
 - ・ 訓練用連絡番号
 - ・ 用件対応シート
 - ・ DMOC 通信（※DMOC 設置宣言時の通信例）
2. DMOC 情報伝達訓練の運用方法と評価方法について ……（資料1）
3. 災害医療作戦指令センター（DMOC）設置基準と設置手順 ……（資料2）
4. 発災ゼロ時からの被災地内医療支援における DMOC と地区医師会の連携及び DMOC 情報伝達訓練における関係機関と DMOC の間の通信例 ……（資料3）
 - ・ 発災ゼロ時からの被災地内医療支援における DMOC と地区医師会の連携
 - ・ DMOC 訓練における医師会・関係機関と DMOC との通信例
 - ・ DMOC 設置宣言時の医療本部長と DMOC の通信事例

（主催）北九州市医師会・災害医療作戦指令センター（DMOC）

（事務局・問い合わせ）

市立八幡病院 災害医療研修センター 担当事務局管理課

〒805-8534 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番2

電話：093-662-6565 FAX：093-662-1796

北九州市地域防災計画及び北九州市医師会医療救護計画に基づく
令和元年度 災害医療作戦指令センター（DMOC）情報伝達訓練概要

訓練日時：令和元年7月20日（土）15：00～17：00

訓練場所：市立八幡病院 別館3階 DMOC 及び本館2階一般外来エリア

【I】訓練概要

1. 訓練目的

北九州市地域防災計画及び北九州市医師会医療救護計画に基づき、DMOC と災害医療支援関係機関・団体が連携し、時間経過とともに変動する被災地内の人的・物的被害状況を発災ゼロ時から情報共有し、迅速かつ適切に被災地内の医療資源を活用できる医療支援体制を確立する。

2. 災害種別・災害規模

- ・災害種別：風水害
- ・被災状況：市内豪雨による河川決壊、家屋浸水、土砂災害、建物損壊、停電、断水等
- ・人的被害：避難者多数、負傷者・死者不明

	避難者			負傷者	死者
	開設避難所数	避難世帯数	避難者数		
災害発生（7月20日）	140ヶ所	3,000世帯	6,000人	不明	不明
発生翌日	300ヶ所	9,000世帯	18,000人	不明	不明
発生から4日目	100ヶ所	2,000世帯	4,000人	不明	不明
発生から1週間後	50ヶ所	500世帯	1,000人	不明	不明

3. 訓練参加・訓練参観機関・団体・個人

▷訓練参加機関・団体・個人（予定）

北九州市医師会、八幡医師会、小倉医師会、門司区医師会、戸畑区医師会、若松区医師会、北九州市薬剤師会、八幡薬剤師会、門司薬剤師会、小倉薬剤師会、若松薬剤師会、戸畑薬剤師会、北九州市歯科医師会、八幡歯科医師会、福岡県看護協会、福岡県透析医会、福岡県 JRAT、福岡県介護支援専門員協会、北九州市立大学、九州歯科大学、(株)インフォグラム、八幡医師会介護保険総合センター・訪問看護ステーション・医療福祉センター、八幡医師会看護専門学院、市立八幡病・DMOC、市立医療センター、北九州市保健福祉局・危機管理室・消防局、市内災害拠点病院（通信回線訓練参加）

▷訓練参観機関・団体・個人（予定）

福岡県医師会、福岡市医師会、遠賀中間医師会、福岡県医療指導課、北九州産業学術推進機構、ベトナム消防大学、JICA 九州、遠賀中間医師会おんが病院、福岡新水巻病院、新小文字病院、戸畑共立病院、小倉リハビリテーション病院、製鉄記念病院、東京農工大学、早稲田大学、遠賀郡消防本部、中間市消防本部、ほか

【Ⅱ】訓練スケジュール

1) 令和元年度訓練の DMOC 情報伝達活動期間は、発災ゼロ時～発災後 7 日程度までを想定した訓練である

発災後の経過日時	実訓練時間	館内放送	アナウンスの内容、訓練内容	想定付与件数
発災ゼロ時	14:47 頃	館内放送①	全域避難勧告、警戒体制→第一配備体制	約 35 件
	15:00 訓練開始	館内放送②	発災ゼロ時～当日の被害状況 DMOC 設置、関係機関と通信回線確保	
発災翌日	15:25 頃	館内放送③	発災翌日の被害状況	
	15:40	館内放送④	タイムアウト 想定付与内容未解決の振り返り	
発災から 2～3 日経過	15:47	館内放送⑤	発災から 2～3 日経過後の被害状況	約 40 件
	15:00		タイムアウト終了・訓練再開	
発災から 7 日程度経過	16:20 頃	館内放送⑥	発災から 7 日程度経過後の被害状況	
	16:35	館内放送⑦	現在まで処理した想定付与の最終確認	
	16:40	館内放送⑧	訓練終了宣言 (DMOC 閉鎖)	

【Ⅲ】訓練参加者・参観者へのお願い

1) 訓練当日の受付・集合時間・場所

・院外訓練参加者及び観覧者の皆様は、必ず、本館 2 階外来総合受付で受付を済ませたのちに、別館 3 階 DMOC へ集合してください。

2) カメラの設置及び訓練中のビデオ撮影

・今回の訓練は、別館 3 階 DMOC と本館 2 階外来エリアの 2 箇所に設置したカメラで、双方の訓練の様子がスクリーンに映し出されます。ご了承ください。

3) 館内放送について

・今回は、発災直後から 1 週間を経過するまでの情報伝達訓練です。そのため、発災ゼロ時から 7 日程度経過した時期までの想定被災状況を別館 3 階 DMOC と本館 2 階外来エリアにおいて、同時に館内放送でされます。

・想定付与の解決件数の状況に合わせて、館内放送の時間は調整されます。

・コントローラーは、統括コントローラーの指示に従い、館内放送のタイミングに合わせて想定付与を行います。館内放送中は、コントローラーからの想定付与を一時中断します。ただし、既に想定付与している担当部署からの回答には順次対応します。

・館内放送開始のタイミング、想定付与の中断および再開の指示は、無線・PHS を用いて統括コントローラーが行います。

4) 災害対策本部の役割分担について

・訓練開始までに、各ブースで本部長ほか役割分担を決めてください。用意してある組織図に担当者を記入後、ホワイトボードに貼りだしてください。

【IV】DMOC 訓練 2019—被災状況の館内放送について

※別館 3 FDMOC と本館 2 F において、院内放送で同時に放送されます。

※想定付与の解決の状況に合わせて、館内放送の時間は調整されます。

【館内放送①—発災ゼロ日】 14：57頃 ※※訓練開始直前に放送

(放送内容)

- ・7月19日夕方に発令された大雨洪水警報にもとづき、北九州市は災害警戒本部を設置していました。
- ・その後も時間降水量は増加を続け、市内の河川の水位が氾濫注意水位まで上昇したため、20日早朝5時には、沿岸住民に対して避難準備・高齢者等避難開始を発令し、避難所の開設が始まりました。
- ・15：00には記録的短時間大雨情報が発表され、土砂災害警戒情報の発令とともに、警戒区域住民すべてに対して避難勧告が発令されました。
- ・そのため、北九州市は、市庁舎内に災害対策本部を設置し、警戒体制から第一配備体制に移行しました。
- ・また、多数避難者がでていることから、北九州市は医療本部長に対して、北九州市医師会医療救護計画に基づく災害医療作戦指令センター（DMOC）の設置を要請しました。
- ・現在、北九州市は第二配備体制へ移行し、市内全域に避難指示を出しました。

【館内放送②—訓練開始宣言】 15：00

(放送内容)

「ただいまより DMOC 情報伝達訓練を開始します」

※別館 3 F に DMOC が設置されます

(コントローラー→医療本部長へ：DMOC 設置要請)

(医療本部長→DMOC センター長へ：DMOC 設置指示)

【館内放送③—発災翌日】 15：25～15：27頃

(アナウンス内容)

- ・現在の訓練想定は発災翌日の7月21日です。
- ・21日未明より大雨は収束し、河川氾濫も治まってきています。
- ・早朝6：00には、大雨特別警報が解除され、注意報へ変更されました。
- ・夜間に数カ所で土砂災害が発生しており、負傷者含めて人的被害確認中です。
- ・午後からは一部地域の避難指示が解除され、18：00に第二配備体制から第一配備体制に変更されています。

【館内放送④—タイムアウト】 15：40頃 ※5分間程度のタイムアウト
(放送内容)

- ・5分程度の休憩を取ります。訓練振り返りの時間ですので、想定付与内容が解決しているかどうか、確認をお願いします。
- ・訓練再開は、15：50の予定です

【館内放送⑤—発災から数日経過】 15：47頃 訓練再開直前に放送
(放送内容)

- ・訓練を再開します。
- ・いまは、発災から数日が経過したところです。
- ・土砂災害の新たな発生なく、現時点で土砂災害による死亡情報はありません。
- ・JR、バス、モノレールなど公共交通機関は一部地域を除いて運行を開始しており、主要道路の通行止めもほぼ解消されています。
- ・各避難所への避難物資輸送は順調です。しかし、被害を受けた地域を中心に、市内各所の避難所では、いまだ多数住民が避難生活継続中です。

【館内放送⑥—発災から7日程度経過】 16：20頃
(放送内容)

- ・DMOC 設置から1週間が経過しました。
- ・避難所は順次縮小していますが、市内50箇所の避難者の避難生活は長期にわたる模様です。
- ・想定付与の解決ができていない部署は、速やかな処理をお願いします
- ・関係機関は現在の要支援情報の有無を確認し、DMOCへ報告してください。

【館内放送⑦—現在までの情報整理】 16：35頃 ※訓練終了前の最終確認
(放送内容)

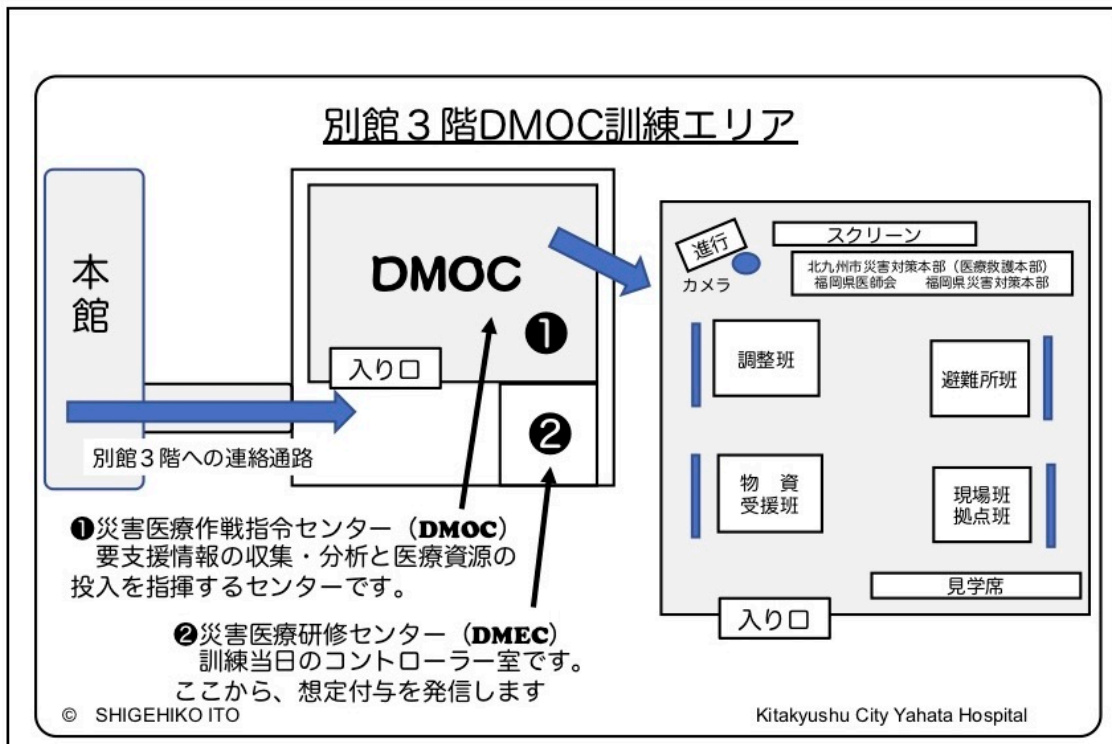
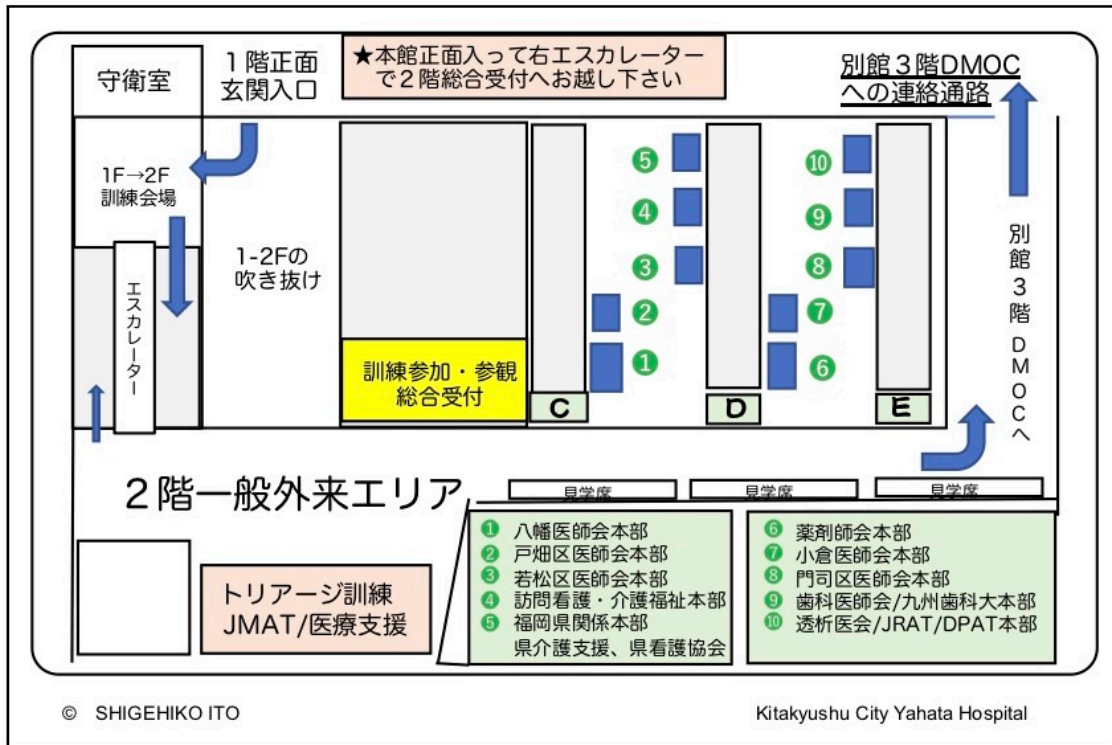
- ・DMOC 情報伝達訓練は16：40を持って終了しますので、想定付与等最終確認をお願いします。
- ・7月27日18：00、北九州市は第一配備体制から警戒体制へ移行し、市災害対策本部は閉鎖されました。
- ・関係機関からDMOCへの新たな要支援情報がないことを確認しました。

※DMOC センター→医療本部長へ : DMOC 閉鎖宣言と報告を行います。

【館内放送⑧—訓練終了宣言】 16：40

- ・ただいまを持って、訓練を終了します。
- ・参加者は、一旦貴重品を持たれて、速やかに別館3FDMOCへ集合してください。
- ・本日の訓練の評価、総評を行いますので、速やかにDMOCへお集まりください。

【V】訓練会場レイアウト



【VI】 訓練用連絡番号

関係機関との通信は、院内 PHS 及び無線で行う

プレイヤー		番号
	調整G	7908
	現場・拠点病院G	7901
	避難所G	7902
	受援・物資G	7907
	八幡医師会	5641
	小倉医師会	5642
	戸畑区医師会	5643
	若松区医師会	5621
	門司区医師会	5911
	訪問看護S	5529
	歯科医師会・九州歯科大	5522
	薬剤師会	5531
	JRAT	5550
JMAT1	5627	
JMAT2	5603	

コントローラー		番号
	調整G	5602
	現場・拠点病院G	5626
	受援・物資G	7910
	避難所G	5400
	本部班、消防局、保健福祉局	7911
	地区医師会(小・戸・訪)	5620
	地区医師会(八・門・若)	7912
	システムコントローラー	5600
	システム運用	5532

 ・・固定電話

無線機 (5台)	
	センター長
	コントローラー
	調整班
	調整班(担当医師)
全体調整(事務局)	

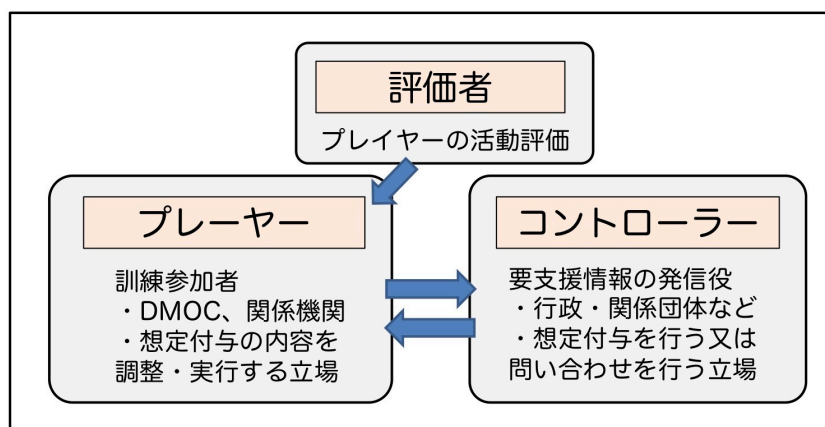
【Ⅷ】DMOC 通信（この通信は、DMOC 設置宣言時の通知内容例です）

No R1-001	【DMOC】 発信：DMOC ⇒ 受診：関係機関各位
返信先	DMOC メールアドレス:dmoc@〇△×.〇.ne.jp
発信元	北九州市立八幡病院内 災害医療作戦指令センター(DMOC) DMOC:TEL093-662-6565 FAX 093-662-1796 mail:dmoc@〇△×.〇.ne.jp
通信日時	令和元年7月20日 土曜日 15時00分
災害種別	<input type="checkbox"/> 地震 <input checked="" type="checkbox"/> 風水害 <input type="checkbox"/> 土砂災害 <input type="checkbox"/> 交通事故・航空機事故 <input type="checkbox"/> その他(テロ等)
DMOC目的	北九州地域豪雨への医療対応
通信内容 活動内容	<p>▷豪雨被害に対し、北九州市は15:00に警戒体制から第1配備体制に移行しました。そのため、北九州市医師会長の指示により15:00をもって、八幡病院内にDMOCを設置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関はDMOCとの通信回線を確保して下さい。 ・地区医師会においては、災害対策本部の設置をお願いします。 ・災害拠点病院は、EMIS又は医療情報ネットの更新をお願いします。自施設診機能（被災状況、ライフライン、エネルギー備蓄状況等）の報告及び傷病者受診情報等についてご報告をお願いします。 <p>▷北九州市発表の被害情報及び警戒体制、配備体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5:00 大雨洪水警報の発令にもとづき、北九州市は災害警戒本部を設置 ・10:00 市内河川（紫川、板櫃川、遠賀川）の水位が氾濫注意水位に上昇 河川沿岸の住民に避難準備・高齢者等避難開始を発令し、避難所を開設 ・15:00 土砂災害警戒情報が発令され、記録的短時間大雨情報を発表。 土砂災害警戒区域に住む住民に避難勧告を発令。 河川水位が避難判断水位に上昇、河川沿岸警戒区域住民に避難勧告を発令。 市内広域に多数避難所が開設され、市民の避難が始まっている。 北九州市は災害対策本部を設置し、警戒体制から第一配備体制に移行した
指示・要請 内容	災害対策本部の設置 被害状況の確認、近況の情報収集
DMOC事務局	責任者：DMOCセンター長 伊藤重彦 （記載 角田 ）

☞ DMOC 情報伝達訓練の運用方法と評価方法について

1. はじめに

本訓練は、訓練を受ける側（プレイヤー）と被災状況を想定して対応するための想定付与を行う側（コントローラー）及び訓練評価者で構成されています。コントローラーは、想定付与及びプレイヤーからの問い合わせや指示に対応する。プレイヤーは、災害からの経過時間に合わせた想定付与内容に対して、判断・対応を行います。評価者は、プレイヤーの情報収集から分析・判断・処理までの行動に掛かった時間を計測し評価します。



2. 想定付与と訓練活動の手順

(1) コントローラー

コントローラーは、災害シナリオに沿って想定付与を行う。想定付与は電話、メール、FAX、口頭伝達等を用いて行われる。プレイヤーからのシナリオ外の機関・部門への問い合わせにも臨機応変に対応します。

(2) プレイヤー

訓練中の関係機関との連絡は、院内 PHS、会場に設置したインターネット環境を使用します。机の上に置いてある訓練用連絡番号（固定電話番号、PHS 番号）を使用します。プレイヤーは入手した想定付与内容を分析・判断して、指示、調整を行います。想定付与内容により連絡方法、回答方法が異なる場合があるので、組織・団体・班のなかで協議し、適切に対応します。

(3) 評価者

評価者は、配布された ipad を用いて評価します。表示される想定付与へ迅速に対応できたかどうかをプレイヤー近くで観察し、ipad に評価を入力します。プレイヤーが適切な判断や指示を行ったか評価が難しい場合は、通信内容やクロノロ内容、プレイヤーへ直接質問等から評価します。なお、評価・分析は北九州市立大学 加藤尊秋先生と（株）インフォグラムにご協力頂いています。

☞災害医療作戦指令センター（DMOC）設置基準と設置手順

1. DMOC 設置基準

- ①風水害等自然災害：警戒体制から第一配備体制へ移行したとき
- ②事故災害・テロ等：保健福祉局は DMOC 設置を要請したとき
- ③医療本部長（北九州市医師会長）は設置が必要と判断したとき

2. DMOC 設置手順

- ①北九州市災害対策本部から医療本部長へ、DMOC 設置要請
- ②医療本部長より DMOC センター長へ、DMOC 設置指示
- ③DMOC センター長より、DMOC スタッフへ、設置宣言と通信回線確保の指示

3. DMOC 設置宣言時の通信例（想定付与N o ◎）

▲：災害対策本部→医療本部長（想定付与 NO◎◎）

「集中豪雨で市の災害対策本部が設置されました。市医師会医療救護計画に基づき、DMOC の設置をお願いします」

◎：医療本部長→DMOC センター長

「市の災害対策本部が設置されたました。市災害対策本部から医療救護計画に基づく DMOC の設置要請がありました。速やかに DMOC を設置してください。」

★：DMOC センター長→医療本部長

「了解しました、DMOC を設置します。関係機関へ設置宣言し、通信回線確保したのちに、またご報告します」（※医療本部長→了解）

★：DMOC センター長→DMOC 各班

「各班リーダーは、集合してください。市の要請を受け、医療本部長の指示により、DMOC を設置します。各班は、関係機関へ立ち上げ宣言を行ってください。」

※DMOC 各班は関係機関へDMOC 設置宣言の通知と通信回線の確保を行う

4. DMOC の5つの班とおもな役割

(1) 調整班：DMOC 各班との調整

(連携) 市災害対策本部、医療救護本部、福岡県災害対策本部・DMAT 調整本部

(2) 避難所班：避難所支援、JMAT 派遣

(連携) 医師会、薬剤師会、歯科医師会、介護支援・高齢者福祉、訪問看護S

(3) 現場班：災害現場支援、搬送手段確保

(連携) 区役所・総務課、危機管理室、消防機関、災害現場 DMAT/JMAT

(4) 災害拠点病院班：急病者受入れ、DMAT 派遣

(連携) 災害拠点病院、救急告示病院、拠点透析医療機関

(5) 物資・受援班：県関連機関との調整、不足物資調達

(連携) 福岡県透析医会、JRAT/DPAT、福岡県 DMAT、福岡県医師会、看護協会、

(文責：災害医療研修センター センター長 伊藤 重彦)

(資料3)

☞ 発災ゼロ時からの被災地内医療支援における DMOC と地区医師会の連携及び DMOC 情報伝達訓練における関係機関と DMOC の通信例

災害医療研修センター センター長 伊藤 重彦

発災ゼロ時からの被災地内医療支援における DMOC と地区医師会の連携及び DMOC 情報伝達訓練の想定付与に基づいた関係機関と DMOC との通信例を示します。

【1】 発災ゼロ時からの被災地内医療支援における DMOC と地区医師会の連携

1. DMOC と地区医師会の連携

- ・ DMOC と連携し、発災ゼロ時からの被災地内医療支援を行う
- ・ DMOC と連携し、要配慮者の医療支援を継続して行う
- ・ DMOC と連携し、活用できる被災地内医療資源を調査する
- ・ DMOC 要請に対し、地区医師会に災害対策本部を設置する
- ・ DMOC 要請に対し、通信回線確保と連携機関の担当者を確認する
- ・ DMOC と連携し、要支援情報の整理と支援結果の確認を行う

2. DMOC 設置後の地区医師会の具体的活動

- ▷ 災害対策本部の設置と通信回線確保
 - ・ DMOC 設置宣言通知の受信確認と通信回線確保の報告
 - ・ 災害対策本部の設置及び役割分担の決定
- ▷ 関係機関・団体との連絡体制の確認
 - ・ 連携する地域支援 S、訪問看護 S 等との連絡体制の確認
- ▷ 医師会会員、職員等の召集
 - ・ 支援可能な医師会員に地区医師会への参集指示
 - ・ 薬剤師会を通じて参集する薬剤師への支援内容指示
- ▷ 要支援情報の収集・整理・分析・処理
 - ・ 要支援情報の整理及び関係機関との支援結果の情報共有
 - ・ 送受信情報は時系列での記録（クロノロ）
- ▷ 避難所支援、JMAT 派遣
 - ・ 災害対策本部の指揮下で活動する JMAT 隊員の編成及び派遣
 - ・ JMAT 活動に関する DMOC への報告（電話、メール、FAX 等）
 - ・ 行政職員、保健師等と連携する避難所支援
- ▷ 地域会員医療機関の被災状況、診療機能の調査・確認
 - ・ 会員施設の被災状況、とくに要支援医療機関の調査
 - ・ 地域病院、有床診療所等の受入れ体制を調査、確認
 - ・ 低緊急（軽症）急病者の会員医療機関への受診調整

【II】DMOC 訓練における医師会・関係機関と DMOC との通信例

1. 災害発生報告と DMOC 設置宣言（想定付与 No〇）

●：DMOC 避難所班→市内各地区医師会（又は市内各薬剤師会）事務局へ一斉メール送信
（DMOC 避難所班パソコンからメール一斉発信）

「集中豪雨発生。市立八幡病院内に DMOC が設置されました。地区医師会（又は薬剤師会）は災害対策本部を立ち上げ、医療支援の準備をお願いします。通知を確認したら、各医師会（又は薬剤師会）は返信をお願いします」

▲：〇〇地区医師会（又は〇〇地区薬剤師会）→DMOC

「〇〇地区医師会（又は〇〇地区薬剤師会）から DMOC へ。災害対策本部長が到着し、本部設置が完了しました。職員配置も完了しました。以上です。」

2. 医師会、薬剤師会会員に対する地区医師会災害対策本部参集要請(想定付与 No〇)

●：DMOC 避難所班（医師会担当者）→医師会会員への一斉メール送信
（メール内容1）

「市立八幡病院内に DMOC が設置されました。医療支援に参加出来る医師は、ご家族の安否を確認したのち、所属する医師会へ参集してください。」

（メール内容2）

「以下の質問に回答を入力してください」

(1) 自施設の被害 あり なし (2) 所属医師会への参集 可 不可

「家族の安否確認が出来て、活動可能か会員は、〇〇医師会へ参集してください」

●：DMOC 避難所班（薬剤師会担当者）→薬剤師会会員への一斉メール送信

「市立八幡病院内に DMOC が設置されました。医療支援に参加出来る薬剤師は、ご家族の安否を確認したのち、近隣の医師会へ参集してください。」

※DMOC 避難所班で、医師会、薬剤師会員の安否確認、及び医師会へ参集できる医師会員、薬剤師会員数を返信メール内容から集計して確認する

3. 〇×地区医師会の JMAT 編成・派遣に関する通信例（想定付与 No〇）

DMOC 避難所班から〇×医師会へ JMAT 編成・派遣を要請する通信内容です。

●：DMOC 避難所班→〇×医師会

「参集した医師会員と看護師で JMAT チームを編成して下さい。〇×医師会へは現在、医師会員8名が参集予定です。薬剤師会からも数名参加予定です。避難所支援可能なチーム編成が完了したら、チーム数を報告してください。」

▲：〇×医師会→DMOC 避難所班

「〇×医師会災対本部です。JMAT 2 チーム編成可能です。支援先はどこでしょうか」

●：DMOC 避難所班→〇×医師会

「〇×区に避難所が5箇所設置されました。A 避難所への医療支援をお願いします。薬剤師会から1名が薬剤等持参しますので、薬剤師と一緒に避難所支援に向かってください」

▲：〇×医師会→DMOC 避難所班

「了解です。A 避難所へ JMAT1 を派遣します。チーム隊長の連絡番号を知らせます」

4. ○×医師会から避難所へ派遣した JMAT1 と DMOC との通信例 (想定付与 No)

(※JMAT1 は、○×医師会で編成した JMAT です)

▲：JMAT1⇒DMOC 避難所班

「JMAT1 です。A 避難所を巡回中です。重症の下肢蜂窩織炎患者が1名おり、救急搬送が必要です。消防救急車の手配と受け入れ先を探して下さい」

●：DMOC 避難所班→JMAT1

「DMOC から JMAT1 へ。搬送先医療機関を確保した上で、消防救急車を派遣するので待機しててください。急病者の様子はどうか、しばらく待てますか。」

▲：JMAT1⇒DMOC 避難所班 「大丈夫です」

《DMOC 内での調整手順》

① DMOC 避難所班→DMOC 調整班へ報告

② DMOC 調整班→DMOC 現場・拠点病院班へ避難所への救急車出動と受け入れ先選定指示

●：DMOC 拠点病院班→市内◎◎拠点病院

「A 避難所に下肢蜂窩織炎患者が1名います。受け入れてもらえますか。搬入までの時間は2時間程度だと思います」→◎◎病院は受け入れを了解

●：DMOC 避難所班⇒JMAT1 へ

「◎◎病院が受け入れます。救急車をA避難所に向かわせました。15分で到着予定です」

5. 福祉避難所へ派遣した JMAT2 と○×医師会災対本部との通信例 (想定付与 No○)

(※JMAT2 は、○×医師会で編成した JMAT です)

◎：JMAT2 →○×医師会

「打撲と皮下血腫の避難者がいます。急ぎませんが整形外科の診察が必要です。近くの整形外科で診察は可能ですか。受診できる会員の医療機関があれば、紹介をお願いします」

▲：○×医師会→JMAT2

「会員の○○整形外科へ受診可能です。避難所とも近いです。お願いします。」

▲：○×医師会→JMAT2

「JMAT2 は福祉避難所での活動が終了したら、100m 先のB避難所へ移動してください。熱発者が1名おられるようですので、診察をお願いします。」

▲：○×医師会→DMOC

「福祉避難所支援中の JMAT2 は、打撲患者の診察が終了したので、B避難所へ移動します」

●：DMOC 避難所班→○×医師会

「先ほどお願いした熱発者の対応をお願いします。搬送の必要な場合は、連絡をお願いします」

6. 訪問看護 S の依頼に関する DMOC と○×医師会との通信例（想定付与 No○）

▲：○×医師会→DMOC 避難所班

「○×区の在宅療養中患者の安否について訪問看護師から連絡がありました。停電中避難地域、に呼吸管理中の在宅患者がおられ、避難できていなければバッテリー等が心配とのことです。」

●：DMOC 避難所班→○×医師会

「住所、氏名等公表できれば教えてください。保健福祉局から当該区役所に連絡してもらい、安否確認をお願いしてみます。改めて連絡します。」

《DMOC 内で調整》

・DMOC 避難所班→DMOC 調整班へ依頼 DMOC 調整班→→物資・受援班へ対応指示

●：DMOC 避難所班→○×医師会

「先ほどの在宅患者について、○×区役所の職員に確認をお願いした。人工呼吸器含めて避難が必要な場合は、区役所から DMOC へ再度連絡が入る予定である。その時は訪問看護 S 職員の同行も検討しておいてほしい。」

▲：○×医師会→DMOC 避難所班

「了解です。訪問看護師が動けるかどうか確認しておきます。連絡待っています。」

7. ◎◎薬剤師会（災害時の拠点薬局）への薬剤調達の要請（想定付与 No○）

▲：○△区役所→DMOC 受援・物資班

「A 避難所の、ワーファリンや糖尿病治療薬など継続服用が必要な薬剤の手持ちがなくなる避難者が複数名いる。どうしたらよいか。医師や薬剤師の派遣、又は薬剤の補給は可能か」

●：DMOC 受援・物資班→○△区役所

「医師会、薬剤師会と調整して、薬剤補給ができるように調整する。また連絡する。」

《DMOC 内調整》

・DMOC 受援・物資班→ DMOC 調整班へ報告

・DMOC 避難所班→地区薬剤師会及び地区医師会へ要請し、JMAT に対応

●：DMOC 受援・物資班→○△区役所

「A 避難所近くの避難所巡回中の JMAT 1 に薬剤師が同行しています。そちらの避難所に行って直接処方内容を確認します。不足している薬剤は DMOC から薬剤師会へ依頼して避難所に届けることとなります。」

【Ⅲ】DMOC 設置宣言時の医療本部長と DMOC の通信事例

①市災対本部 → 医療本部長（北九州市医師会長）へ連絡

◎（災対本部）北九州市災害対策本部の◎◎です。医療本部長でしょうか。

▲（医療本部長）医療本部長の 市医師会会長の○○です。

◎（災対本部）記録的短時間大雨情報が発表され、市内河川の水位が氾濫注意水位まで上昇し警戒区域住民に対し避難勧告を発令しました。北九州市は災害対策本部を設置し、第一配備体制に入りました。市災害対策本部より医療本部長に対して、DMOC 設置を要請します。

▲（医療本部長）了解しました。直ちに DMOC を設置します。

②医療本部長→DMOC センター長へ連絡

▲（医療本部長）医療本部長の○○です。DMOC センター長です

◎（センター長）DMOC センター長の△△です。

▲（医療本部長）北九州市は災害対策本部を設置し、第一配備体制に入りました。また市内広域の住民に対して、避難勧告が発令されました。すみやかに DMOC を立ち上げ、情報収集を開始してください

◎（センター長）了解。直ちに DMOC を設置します。設置完了後に、改めて報告します。

③DMOC センター長 → DMOC メンバーへ通知

◎（センター長）DMOC センター長です。ただいま、災害対策本部の医療本部長より DMOC 設置の指示が出ました。現在の 15 時をもって DMOC を設置します。各班は、すみやかに関係機関へ DMOC 設置宣言を行い、関係機関と通信体制を確立してください。各班の体制が確立したら、調整班へ集合、直接報告して下さい。

④各班から報告 → DMOC センター長

（現場・拠点病院班）

・災害拠点病院へ DMOC 設置宣言を通知しました。病院機能、被災状況は報告待ちです。

（避難所班）

・各地区医師会に DMOC 設置を伝え、災害対策本部の設置を要請しました。また、薬剤師会に地区医師会への参集を要請しました。また、県医師会に DMOC 設置を伝えています。

（物資受援班）

・県庁医療指導課と消防防災課に DMOC 設置を通知、今後の連絡方法を確認しました。県災対本部から、県内 DMAT へも DMOC が設置されたことを伝えてもらいます。

（調整班）

・保健福祉局、危機管理室、消防機関へ DMOC 設置宣言しました。保健福祉局を通じて、市内区役所から避難所開設情報が入ります。

⑤DMOC センター長 → 医療本部長

◎（センター長）医療本部長でしょうか。DMOC センター長の△△です、

・15:05 に DMOC を立ち上げ、関係機関へ連絡、通信回線を確保しました。ご報告します

▲（医療本部長）了解しました。情報収集し、医療支援を始めて下さい。DMOC 設置と通信回線確保完了の件は、市災対本部へ報告しておきます。

◎（センター長）了解しました。医療支援情報は適宜ご報告します。一旦通信終了します。